

## 研究主題 社会とつながり未来を創る子供の育成

### I 団体の概要

昭和26(1951)年の発足から70年間以上続く歴史ある社会科の研究団体です。現在、第3学年から第6学年まで四つの研究部会に分かれて、社会科授業の実践研究を行っています。教材開発、指導方法、評価等の実践など、各部会で年2～3回ほどの研究授業を中心に、部員による学び合いを深めています。

昨年度、令和5年11月9日及び10日には、全国小学校社会科研究協議会全国大会東京大会の開会行事・全体会・記念講演会を開催しました。全国各地から合わせて1600名以上の参加者が集まりました。そして公開授業や実践提案を基にして、これからの社会科授業のあり方について、協議し、研究を深めました。今年度は、本研究会独自の研究委員制度を発足し、これからの社会科指導のための教員育成を行っています。今年度の研究発表会を令和7年2月21日(金)に板橋区立上板橋第四小学校で開催します。

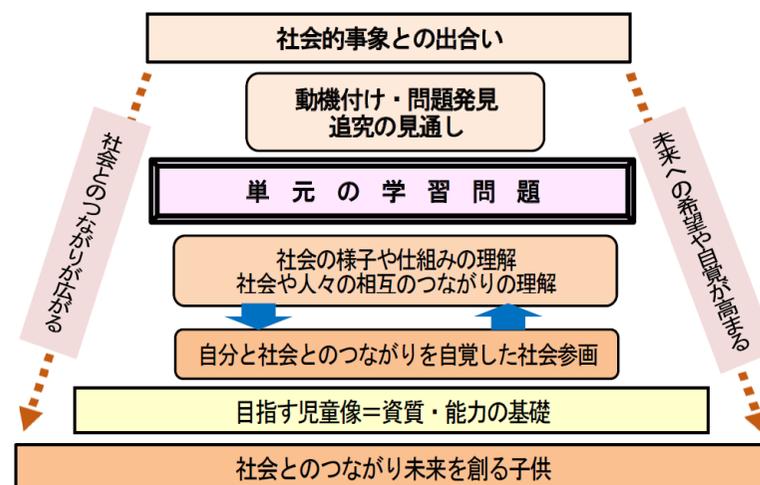


### II 研究の目的

社会的事象の見方・考え方を働かせながら、児童主体の問題解決的な学習を展開し、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を統一的に育む実践を積み重ねながら研究主題（副主題含む）の実現及び理論の充実を図り、広く発信する。

### III 研究の方法

教材開発や教材の分析などの単元構想の側面及び、授業づくりの手だての工夫の二つの側面から単元設計や毎時間の授業設計をし、子供の学びの様子を通して成果と課題を検証する。



#### IV 研究の内容

##### 1 単元の構想

- ・社会とのつながりを意識できる教材、人の営みや働きに共感できる教材を開発する。
- ・学習指導要領解説を参考に「知識」「見方・考え方」「問い」「資料」の四つの観点から教材を分析するとともに、子供の思考の流れを想定し、単元を構想する。

##### 2 授業づくりの手だて

###### ①主体的に問いを追究する工夫

- ・問題意識が高まり問いが生まれる社会的事象との出会いの工夫
- ・調べる対象資料、方法を子供が選んで追究する展開 や学習活動の工夫
- ・社会の問題について追究、解決の見通しをもつ活動や、複数の情報を関連付けて社会的事象の特色や意味を考え説明する活動の工夫

###### ②社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

- ・視点に着目して問いについて調べる学習活動の工夫
- ・比較・分類・総合・関連付けて考察する学習活動の工夫
- ・社会に見られる課題の解決や関わり方について議論し考えを高め合う学習活動の工夫

###### ③子供の学びを確かにする評価の工夫

- ・3観点による評価計画の作成
- ・指導と評価の一体化の工夫
- ・自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価活動の工夫

#### V 研究の成果と課題

##### <成果>

- 学習指導要領の分析等を単元構想図に表し、それを見方・考え方を働かせ主体的な学びを促す指導計画を作成して、確かな理解と主体的に学ぶ態度を養う授業の具現化を図ることができた。
- オール東京の体制で本研究会独自の研究委員制度を発足し、授業研究会及び研究発表会を開催することができた。

##### <課題>

- 学年部会の授業研究を通して、理論の明確化と授業での手だてのさらなる具体化を図り、広く東京都に普及できるようにすることが課題である。

##### <令和6年度 連絡先>

団体名		東京都小学校社会科研究会	
代表者	所属	新宿区立四谷小学校	
	職 氏名	校長 石井 正広	
	連絡先	03—5369—3776	
事務局	所属	青梅市立新町小学校	
	職 氏名	校長 塚田 直樹	
	連絡先	0428—31—0268	
団体ホームページ	URL	<a href="https://asp.schoolweb.ne.jp/1350008">https://asp.schoolweb.ne.jp/1350008</a>	二次元コード
			